

科目名	日本語学の基礎Ⅱ	
担当者	安本 真弓 / YASUMOTO, Mayumi	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	日本語はどのように変化し、また、なぜ変化したのだろうか。この授業では、まず、江戸時代以降の日本語の歴史の概要を把握する。そのうえで「日本語学の基礎Ⅰ」での学習も踏まえ、日本語の変遷の諸相と変化の要因について考えていくことにする。さらに、現代日本語の問題についても学習する。
	到達目標	1. 日本語の歴史について、その流れを略述し、重要事項が説明できるようになる。 2. 日本語の歴史、および言語の変化に関する問題点を見出し、それを説明できるようになる。 3. 現代日本語の様々な問題に気付くことができ、その問題について考えをまとめ、発表することができる。
授業計画	(1) ガイダンス (2) 江戸時代前期の文字・音韻・文法・待遇表現 (3) 江戸時代後期の文字・音韻・文法・待遇表現 (4) 明治時代以後の語彙・文体 (5) 明治時代以後の文法 (6) ことばの変化①（語の変化） (7) ことばの変化②（音の変化） (8) ことばの変化③（意味の変化） (9) ことばの変化④（文法の変化） (10) 演習発表① (11) 演習発表② (12) 演習発表③ (13) 演習発表④ (14) 演習発表⑤ (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業内容をよく復習すること。
使用教材・参考文献	【教】近藤泰弘他『新訂日本語の歴史』放送大学振興会、2005年、ISBN 4595305474 【参】山口仲美『日本語の歴史』岩波新書、2006年、ISBN 4004310180	
成績評価方法と基準	<基準>日本語の文字・音韻・語彙・文体・文法について、基礎的なことが理解できている。また、日本語に関する様々な問題に気付くことができ、その問題について考えをまとめ、発表することができる。 <方法>テスト50%、演習発表40%、受講態度10% ただし、演習発表を行わなかった場合、その時点で不可とする。	
備考	「日本語学の基礎Ⅰ」を履修していることが望ましい。	